

2020～2021年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク
2020～2021年度 国際ロータリーのテーマ

福岡東南ロータリークラブ

週報

会長 長谷川 裕一
副会長 津上 賢治
幹事 村瀬 廣記

創立 / 昭和 45年 2月 6日
事務所 / 福岡市博多区住吉 1-2-82 グランドハイアット福岡B2
TEL 092 (283) 8878 FAX 092 (283) 8871
E-mail : ftonanrc@fukuoka-serc.org
HP : <http://fukuoka-serc.org>
例会場 / グランドハイアット福岡 TEL 092 (282) 1234
例会日 / 毎週金曜日 12 : 30



ROTRY CONNECTS THE WORLD

■本日の例会プログラム

- 君が代
- ロータリーソング(2700のマーチ)
- 会長の時間 ゲスト・ビジター紹介
- 会務報告
- 各委員会報告
- 卓話

「1週間3千円で家族4人暮らしていました！」

会員 末秋 聡君

(株式会社アルファオメガ代表取締役社長)

■次回卓話(10月9日)予定

「自己紹介」

会員 藤田佳孝君

(リーフラス(株)上席執行役員)

■前回例会の記録(9月18日)

◇出席報告 出席委員長

当 日	9月18日	前々回	9月4日
会員総数	71名	会員総数	69名
免除会員数(9名中)	5名	免除会員数(9名中)	4名
出席会員数	45名	出席会員数	45名
ゲスト	1名	メイクアップ	15名
ビジター	1名	欠席会員数	0名
合 計	52名	合 計	64名
出席率	74. 63%	修正出席率	100%

会長報告

- 現状のコロナ禍は戦後最大の危機であります。危機の受け止め方次第で、我が国の進路は違ってきます。
- 我が国は戦後、焼け野原からアメリカの資産の2倍を超える経済大国をつくりました。340万人の尊い犠牲者の命を無駄にしてはならない、尊い命の犠牲に報いるためとの思いで戦後生まれの人達が、無意識の合意のもと、成し遂げたものであります。
- これは「マイナスが本質」で、マイナスがエネルギーを生み、力を生みました。この結果、世界が憧れる日本国となりました。
- しかし、平成に入ってその満足というか、その驕りというか、祖先を敬う、先人の犠牲を忘れる、神仏を疎かにするといった個人主義が台頭し、日本国の誇りを忘れ、自己中心的になり、謙虚さを忘れ、その結果、平成30年には先進国で最低の経済成長の国となってしまいました。これは、戦後の日本国の精神を忘れたためであります。
- 学生時代に新聞で、当時の京都大学の平澤興学長の「苦難は妙薬なり」という言葉に出会い、自分の人生訓となっています。また、奈良薬師寺の高田好胤管主がいつも言われていた「苦勞さから逃げると苦勞さはどこまでも追いかけてくる。苦勞さを好きになるとお友達になり助けてくれる。」という言葉を大切にしています。
- グランドハイアットには大変お世話になりました。10月2日の例会はホテル日航福岡で開催しますが、曾屋さんをはじめ、グランドハイアットの御配慮に感謝申し上げます。

幹事報告

- 10月2日(金)定例理事会を例会後開催します。
- 9月25日の例会は定款第7条第1節Cにより{休会}致します。

新会員紹介



柴田典昭会員
西部電気工業(株) 取締役常務執行役員

(推薦者 佐々木健一会員)

「経済と地域社会の発展月間」「米山月間」 ロータリー学友参加推進週間 (10月7日を含む1週間)

2日(金)定例理事会(例会終了後)
9日(金)誕生祝

16日(金)「休会」定款第7条第1節Cにより

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ピアノ演奏曲

- ムーンライト・セレナーデ / G.ミラー
- 追 憶
- 愛の悲しみ / クライスラー
- 黄昏のビギン / 中村八大

今月の行事

四つのテスト

各委員会報告

〔ロータリー財団委員会：筒丸委員長〕

- ・鬼倉潔会員にポール・ハリス・フェローのピンを会長より渡して頂きました。



〔米山記念奨学委員会：木下委員長〕

- ・アレクサンダー・ジェyson マーク君に会長より奨学金と修了証をお渡ししました。
- ・カウンセラーの亀山会員に感謝状が届いています。

卓 話

「米山記念奨学生 挨拶」

米山記念奨学生
アレクサンダー・ジェyson マーク君

●深謝

- ・「時間」と「関心」と「お金」を援助して頂き、感謝。
- ・米国東海岸のニューハンプシャー州の出身で、現在24歳
- ・日本には、高校の時から関心を持ち、2015年に関西の大学に留学、
- ・函館、横浜で日本文化に触れ、大学を卒業後、2018年秋に福岡へ
- 何を勉強？(九大大学院人文科学府人文基礎専攻)
 - ・2年間の修士課程を修了
 - ・専門は、大正時代の歴史、戦前の朝鮮半島と日本の関係
- そうしながら(日本社会との関係)
 - ・当ロータリークラブで、米山記念奨学金を
 - ・糸島国際交流協会で、宣伝とチラシの翻訳を通して、小学生との文化交流
 - ・福岡県労働福祉課で、2か月間、福岡在住の外国人のコロナ支援
 - ・英語学校(幼稚園～高校生)
 - ・合唱団にも所属
 - ・アクロス国際広場で、外国人留学生の就活などをサポート
 - ・当ロータリーでは、50周年記念行事に参加、亀山さんらとの楽しい時間と貴重な思い出(亀山さんの健やかな回復を)
 - ・山笠に参加、福岡マラソンにも応援

●これからの道

- ・ホノルルのハワイ大学で社会学博士課程に
- ・テーマは「タイにいる難民と日本からの支援」
- ・ホノルルのロータリークラブに参加し、日本との関係は継続
- ・福岡にも将来は訪問希望

●最後に

皆さんには心から深く感謝申し上げます。経済的な負担で悩むことなく、助かりました。そのお陰で、勉強に集中できました。ありがとうございました。

バイオリン演奏 「ビバルディ R356」



〔質問・意見〕

- ・大正・昭和初期で学んだエッセンスは(長谷川会長)
⇒朝鮮人労働者の苦難・苦労を軽視してはならないこと
- ・ハワイ大後の人生プランは、また将来やりたいことは環境それとも難民支援か(木下委員長)
⇒国際機関、NGOなど人々を助ける組織に、そのためには専門性とフィールドワークを身につけたい。難民支援を中心に進みたい。
- ・日本で学んだことを生かして、生きて行ってください。(浅野会員)

<例会運営委員会>

※スマイル箱の報告は、時間の都合により次週発表させていただきます。

合 計	54,000円
スマイル箱目標額	1,300,000円
累 計	139,000円(9/11) 達成率 10.7%

「合言葉:WATCH WORD」 **「ずっと先まで、お役に立ちたい！」**

「目標:TARGET」 **「奉仕活動のトップランナーになります！」**

F・Nテーブル会

7月22日(水)博多の「蔵音(くらいん)」にて長谷川会長、村瀬幹事、グルメ通の本山会員の参加を得て、少数精鋭のメンバーにてテーブル会を盛大に行いました。

紅一点の河内会員を中心に話が盛り上がり、楽しいお酒、美味しい料理を堪能しました。

(田中 浩会員)



ゴルフ会

9月19日(土)秋晴れのもと、ゴルフ会が9名の参加で開催されました。

優勝は北川会員、佐々木前会長杯も北川会員でした。(中村会員)



「合言葉:WATCH WORD」 **“ずっと先まで、お役に立ちたい!”**

「目標:TARGET」 **“奉仕活動のトップランナーになります!”**